

バス停からの 小さな旅



▲公道の脇にひっそりとたたずむ道標

加茂野コミュニティセンター東のバス停を下車し、加茂野大池公園を左手に北上していくと、旧国道248号線(志野もみじ街道)に出ます。その手前の空き地に、植え込みに守られるように馬頭観音の道標があります。銘文により寛政12(1800)年の造立と推測されます。

その台座正面には「右かぢた道」「左せき道」と刻まれています。それぞれ「加治田」、「関」を指すため、当時はここが分岐路であり交通の要衝地であったと思われます。これは、街道を媒介として当地と頻繁な交流があったことを裏付けています。さらに興味深いのが、同じく台座に石工「関大門町石工善七」の名が刻まれています。市内の石工銘のある石造物は少なく、大変貴重なものです。

道標にはさまざまな形がありますが、馬頭観音の姿の道標を立てることにより功德を得ようとする人たちの信仰心が、道標の造立につながったと思われます。

昔も今も行き交う人たちの安全を静かに見守り続けているのでしょう。

【参考】『美濃加茂の石仏(1988年)』

17 「加茂野コミュニティセンター東(あまちの森・しょうよう線)」から馬頭観音の道標へ



今回乗車したバス

行き あまちの森・
しょうよう線 左回り3便
帰り あまちの森・
しょうよう線 右回り4便

09時18分 美濃太田駅南口
10時12分 加茂野コミュニティセンター東
下車後、舗道を北上し、
道標に出会う
11時12分 加茂野コミュニティセンター東
12時08分 美濃太田駅南口



▲道標の線刻